



検査装置を更新しました

最近、臨床検査科にて『トレッドミル』が、そして放射線科にて『骨密度測定装置』の更新がありましたので、みなさまに検査の案内と紹介をさせていただきます。

トレッドミル装置の更新

トレッドミル検査とは動くベルトコンベアの上で心電図、血圧の変化を見ながら段々速くしたり、ベルトの角度を大きくして坂道の状態で運動していただくことによって心臓に負荷をかけて行います。ベッドで寝たまま行う安静時の心電図では分からない狭心症などの虚血性心疾患や不整脈などの診断を行います。



トレッドミル検査の方法

上半身に心電図の電極シールを貼り、コードを接続して腰にベルトを巻くように取り付けます。腕に血圧計を巻き、裸足か靴下のままで行います。運動中は基本3分おきにベルトの動きが速くなり、坂の角度が大きくなります。心電図、血圧をモニターしながら目標の心拍数に達した場合、胸部の症状や心電図変化が現れてきた場合、息切れや足の疲れによりベルトの速さについて行けなくなりそうな場合などにより運動を終了します。運動後は呼吸の回復や症状の観察を行い、検査終了となります。検査時間は電極の装着等含め30分から40分程度です。

トレッドミル検査をうけられる患者様へ

トレッドミル検査は、動きやすい服装でお越しいただくかご持参ください。また、十分な運動を行うので汗を拭けるようタオル等ご持参ください。体調の悪い時、足腰のケガや痛みがある場合は検査できないこともありますのでお申し出ください。

大和橿原病院 臨床検査科
仲野隆一



骨密度測定装置の更新

2014年の1月に発行しました『どんぐり』第3号にて、ご紹介しました「骨密度測定装置」について再度紹介します。

2015年の3月に骨密度測定装置をGEヘルスケア社製

『*PRODIGY-C*』に入れ替えをさせていただきました。以前の装置からDEXA法による精度の高い検査を提供していましたが、非常に時間がかかるという欠点がありました。今回、導入した装置は、精度が高くさらに短時間で検査を受けていただくことができます。患者様によって検査部位などは異なりますが、1カ所の検査で30秒くらい、多くの方が2~3カ所の検査になりますので、合計で2分くらいになります。

過去に検査を受けていただいている方はご存じかと思いますが、従来の装置ですと10~15分くらいかかっていたので、待ち時間の短縮と、検査時間の短縮に大きくつながっています。

この機会にぜひ骨密度測定検査を受けてみませんか？



大和橿原病院 放射線科
菅谷宏樹

病院 理念

- ◆安全で質の高い医療を行います
- ◆医療人としての倫理を守ります
- ◆積極的に地域医療に貢献します

病院 基本方針

- ◆患者様の生命と安全を尊重し、質の高い医療を目指します
- ◆医療人としての倫理を守り、常に知識や技術の向上に努めます
- ◆救急態勢を充実させ、他の医療機関や行政・福祉との連携を目指します

医療法人橿原友誼会 大和橿原病院

奈良県橿原市石川町8-1番地

Tel 0744-27-1071 FAX 0744-27-4609

ホームページアドレス

<http://www.yamato-kashihara-hp.or.jp/>

編集後記：装置の更新がある度に、技術の進歩を実感します。流れに取り残されないよう勉強しなければ、、、(菅谷)

発行者：奥田亮宏(院長) 編集長：城崎和久(医局長)

編集委員：萬家(リハ) 菅谷(放射) 川崎(検査) 武本(外来)
矢谷(2階) 手島(3階) 高橋(4階) 竹上(総務) 齋藤(ope)